

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	疾患別動作分析学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年	教室名	302 他
担 当 教 員	太田 珠代 馬庭 春樹	実務経験と その関連資格	病院において理学療法士として勤務。小児疾患や、中枢疾患・整形疾患のリハビリテーション業務経験がある。			
《授業科目における学習内容》						
疾患別に人間の基本生活動作の動きの機能や役割を体系的に研究する						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験(100%)を以て評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
理学療法ハンドブック 第2巻 第3巻 動作分析 臨床活用講座 バイオメカニクスに基づく臨床推論の実践 配布資料						
《授業外における学習方法》						
教科書や配布資料を用いて講義内容の予習・復習をする。						
《履修に当たっての留意点》						
教科書等の忘れ物に留意する。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	動作観察・分析の違いや必要性について説明することができる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	動作観察・分析の必要性について			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	基本動作についてその概要が説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	基本動作の復習			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	寝返り動作の観察すべきポイントが説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	寝返り動作の観察について			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	寝返り動作の分析が実践できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	寝返り動作の分析について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	起き上がり動作の観察すべきポイントが説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。	
		各コマにおける授業予定	起き上がり動作の観察について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	起き上がり動作の分析が実践できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	起き上がり動作の分析について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	起立動作の観察すべきポイントが説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	起立動作の観察について		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	起き上がり動作の分析が実践できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	起立動作の分析について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	歩行の立脚相について観察すべきポイントが説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	歩行における立脚相の観察について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	歩行の遊脚相について観察すべきポイントが説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	歩行における遊脚相の観察について		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	歩行における立脚相の分析が実践できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	歩行における立脚相の分析について		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	歩行における遊脚相の分析が実践できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	歩行における遊脚相の分析について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	各基本動作における観察と分析の要点が説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	正常動作の観察と分析(まとめ)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	各基本動作における観察と分析の要点が説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	正常動作の観察と分析(まとめ)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	各基本動作における観察と分析の要点が説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	正常動作の観察と分析(まとめ)		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	廃用性症候群における動作の概要について説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	廃用性症候群における動作の概要について		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	廃用性症候群における動作の特徴について説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	廃用性症候群における動作の特徴について		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	廃用性症候群における動作の観察について説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	廃用性症候群における動作の観察について		
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	廃用性症候群における動作の分析が実践できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	廃用性症候群における動作の分析について		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害における動作の概要について説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	脳血管障害における動作の概要について		
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害における動作の特徴について説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	脳血管障害における動作の特徴について		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害における動作の観察について説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	脳血管障害における動作の観察について		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	脳血管障害における動作の分析が実践できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	脳血管障害における動作の分析について		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン病における動作の概要と特徴について説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	パーキンソン病における動作の概要と特徴について		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン病における動作の観察について説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	パーキンソン病における動作の観察について		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第26回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	パーキンソン病における動作の分析が実践できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	パーキンソン病における動作の分析について		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢整形疾患における動作の概要について説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	下肢整形疾患における動作の概要について		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢整形疾患における動作の特徴について説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	下肢整形疾患における動作の特徴について		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	下肢整形疾患における動作の観察について説明できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	下肢整形疾患における動作の観察について		
第30回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	下肢整形疾患における動作の分析が実践できる。	教科書	教科書を用いて講義内容の箇所を読んでおく。
		各コマにおける授業予定	下肢整形疾患における動作の分析について		
		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			